

『地学研究』投稿規程

2023年4月1日改定

本誌への投稿は、内容が〔地球科学〕の範囲であれば、原著論文や報文はもちろん、気楽な記事も掲載可能です。本会の会員である限り資格は問いません。アマチュアによる研究の投稿を歓迎します。なお、広い分野の読者に理解できるように、原稿は平易に書かれることを切望します。

本誌に投稿される方は、下記の事項をよく読み、原稿を作成してください。事項通りでなくてもかまいませんが、こちらで規定通りに手直しする場合がありますので、ご了承ください。

1. 掲載論文記事の種類

- * 第1部：原著論文、報文、ミネラルレポート、総説などを掲載します。
- * 第2部：第1部以外の記事を掲載します。たとえば、鉱物・岩石・化石の産地報告、紀行文、随筆、写真や人物の紹介、書評、催事案内、雑報など、幅広い内容の投稿を期待しています。
- * 著者の希望を重視しますが、1部、2部のいずれに掲載するかは編集部で決定させていただきます。

2. 原著論文について

- * 〔原著論文〕は、内容が他の論文として発表されていないオリジナルの研究論文を投稿してください。
- * 〔原著論文〕として投稿される場合には、必ずタイトルの左上に〔原著〕と記入してください。原著論文に関しては、編集部より論文の内容にふさわしい専門家に査読をお願いし、その結果に基づいて、編集部より著者に〔原著論文〕として掲載するかどうかを通知します。
- * 〔原著論文〕には英文の要約（アブストラクト）をつけてください。
- * 日本語及び英語のキーワードをそれぞれ5つ程度指定してください。

3. 原稿の書き方

- * 原稿はA4サイズで、1ページ38行、1行43文字で作成してください（テキスト形式または、マイクロソフト社のワード形式のデータを電子メールに添付して送付するか、CD-Rのメディアに記録して郵送してください）。手書きの原稿の場合には市販の400字詰め原稿用紙（横書）を用いてください。極力、電子データでの投稿をお願いします。

- * 原稿の1行目にタイトルを書き、その下に著者名(ローマ字表記も添える)を、少しはなして肩書き・所属・住所などを書いてください。
- * 原著論文・報文・ミネラルレポート・総説には和文タイトルと共に、英文タイトルを必ず記入してください。

4. 文章と文体

- * 論文の文体はひらがなと漢字による口語体（〔だ・である〕体）で、現代かなづかいを用いてください。2部の記事については、〔です・ます〕体でもかまいません。
- * 句読点は〔, 〕〔. 〕を用いてください。
- * 謝辞を除いて本文中の人名には敬称をつけないでください(2部の記事は除く)。
- * 数量を表わす数字はアラビア数字を用いてください。
- * 英文字で、イタリック体(斜体)とする場合には赤の下線を引き、その下に〔イタ〕と記入してください。和文字、英文字でゴシック体(太文字)にする場合には二重の赤線を引くか、赤線の下に〔ゴシ〕と赤で記入してください。

5. 図・表・写真

- * 図・表・写真などには、必ず見出し(キャプション)や表題をつけてください。
- * 図・表・写真の見出しは文章ではないので、原則として〔 〕は使わないでください。
- * 見出しを英語で表記する場合には、日本語も併記してください。
- * 図・表・写真などは原則として原稿本文とは別に提出してください。本文中に貼りつけたり、スペースを取ったりせず、挿入を希望する箇所の原稿右の空欄に〔図1〕などと赤で指示してください。
- * 図・表・写真は、原則として上下170mm、幅135mmが掲載時の最大の大きさとなります。極力、キャプションも同じページ内に収まるように考慮して作成してください。
- * 図・表・写真の掲載される大きさについては、編集部にお任せください。著者が希望する場合は指示を書いてください。可能な限り尊重します。
- * 地図等には方位や縮尺・スケールを、標本写真などには図中にスケールとなるものを示すか、説明文に標本の長さ等を数値で記述してください(例 長さ=5cm)。説明文における倍率での表示はしないでください。
- * 図版に用いる標本等の撮影、図版・図表の作成は印刷所または編集部で行うこともできますが、その場合には別途費用をいただきます。図版・図表作成の依頼については、編集部にお気軽にご相談ください。

6. 文献・図の引用について

- * 本文中の引用文献・図などについては、必ず出典を明確にしてください。また、他紙掲載の図や表などを原著者への断り無く、安易に転載することは避けてください。元の引用図・表を書き直した場合でも、引用先を明示してください。
- * 本文中の文献引用は、下記の例にならってください。
藤原（1993）は、・・・・・・・・
田中・吉本（1989）によると、・・・・・・・・
菊池ほか（1995）は、・・・・・・・・
・・・・・・・・とされている（鈴木, 1991: 小川, 1987）。
Inoue and Kondo（2000）は、・・・・・・・・
Kimura et al.（1998）・・・・・・・・
・・・・・・・・（Sato et al., 2003）。
- * たとえ自分が書いた論文であっても、他人の論文と同じ扱いをしてください。
- * 引用・参考文献は論文末に一括し、著者名のアルファベット順、同一著者の論文は、単著論文を公表年代順に、続けて2番目の著者のアルファベット順とし、同一の組み合わせの著者の場合には常に年代順としてください。著者・公表年とも同じ場合は a, b をつけて並べてください。
- * 引用・参考文献は、著者名、発行年（括弧をつける）、表題、掲載誌名（正式な略を使う。各雑誌の論文の最初のページの上に記載されている）、巻（数字のみ。ゴシックを使う）、号（数字のみ）、ページ（始—終、総頁の場合は〔○頁、○総頁〕、英文は〔○pp〕とする）の順に記載してください。原則下記の例を参考にしてください。

引用・参考文献例

河野雅英・渡辺博和（2007）：茨城県城里町錫高野産洋紅石。地学研究，56，1，11-16.

日本地質学会（2006）：日本地方地質誌4。朝倉書店，564 総頁。

木村克己・吉岡敏和・井本伸広・田中里志・武蔵野実・高橋裕平（1998）5万分の1地質図幅「京都東北部」，地質調査所

Kato, A.. and Sakurai, K. (1968): The occurrence of Teineite from the Kawazu (Rendaiji) mine, Shizuoka Prefecture, Japan, Mineral. J., 5, 285-290.

Reading, H. G. (1986): Sedimentary environments and facies. 2nd ed. Blackwell Sci. Publ., Oxford, 615 pp.

- * 学術雑誌等の電子出版態を引用する場合は、特別の引用表記法が指定されている場合を除いて、通常の印刷出版物と同じ引用表記をしてください。なお、印刷出版物

と電子出版物が同時に出版されている場合には、原則として印刷出版物を優先して引用してください。

- * インターネット上の情報の引用は、原則として行わないでください。ただし、例外として、原稿中の記述を補助するための参照や紹介など、論文の論旨そのものが成り立たない場合については、編集委員会の承認のもとで行えることとします。

7. 投稿論文・記事の受理について

- * 投稿する原稿の控え（図表・写真等も）を著者の手もとに保管してください。
- * 投稿論文・記事の原稿として不適当な部分がある場合には、著者に訂正や変更をお願いすることがあります。
- * 掲載原稿が20頁を超える場合は2回以上に分割して掲載する場合があります。1号掲載を希望される場合は、20頁を超える分1ページにつき1万円のご負担をお願いします。
- * 次のような場合には編集委員会の判断により掲載できないことがあります。
 - 1 原稿の書き方が規定に著しく反している場合
 - 2 内容が本誌に不適当と判断される場合
- * 編集後、著者には初校を送り、校正をしていただきます。再校正以降は編集部が責任をもって校正をいたします。著者校正では、文章や写真、図の追加・変更等ができるだけないように、投稿前に充分にご確認ください。変更・追加によってページ数の増減が生じる場合には、編集の都合上希望に添えない事があります。

8. 別刷について

- * 別刷は希望により制作しますが、費用は著者負担となります。著者校正の際に申込書をお送りいたします。

9. その他

- * 『地学研究』に掲載された論文やその他の著作物の著作権は、公益財団法人益富地学会館に帰属するものとします。これには複製、翻訳、出版、電子出版、翻訳出版、データベース化、すべての記録メディアへの記録や掲載など、本著作物に関する一切の利用権を含みます。また、技術の進歩によって将来生じうる利用形態も含まれるものとします。
- * 本誌へのご投稿に関しては内容を問わず、本誌編集部へ気軽に相談ください。可能な限りの協力をいたします。